

### 福島県立飯坂高等学校

- 指定 昭和46年度指定（2年間）
- 研究主題 「生徒理解の方法と活用」
- 研究概要

診断的客観的な生徒理解の方法と実施した調査・検査・面接の結果を個人についてまとめる方法的研究

### 福島県立白河高等学校

- 指定 昭和45年度から（2年間）
- 研究主題 「学業と生徒指導、特に学業不振生徒に対する生徒指導」
- 研究の概要

学業不振生徒の実態を把握し、教科指導、特別教育活動、および教育相談を通して実践的な追跡研究を行なった。

### 福島県立小名浜水産高等学校

- 指定 昭和45年度から（2年間）
- 研究主題 「クラブ活動を中心とした生徒指導」
- 研究概要

全員参加のクラブ活動のあり方を、クラブ活動に対する生徒・父兄、教師の意識調査をもとにして、クラブ運営面を中心として研究した。

### 福島県立喜多方商業高等学校

- 指定 昭和45年度から（2年間）
  - 研究主題
  - 研究概要
- 集団生活のなかで、生徒が自主的に考え、行動するには生徒指導をどのようにしたらよいか。
- 研究概要
- 生徒の実態についての詳細な調査を活用し、ホームルーム、クラブ活動などを含む学校生活全体の中で、生徒の自主性、自律性を伸ばすための生徒指導を研究した。

## 2. 教科指導法研究学校

### (1) 目的

本県県立学校生徒の学力向上を図るため、特に各教科の学習指導に関する研究を通して、現職教育の充実の観点に立った実践的研究を委嘱する。

なお、その研究成果を広く県内各校に普及し、本県生徒の学力向上に資する。

### (2) 研究期間

昭和46年4月から昭和47年3月までの1年間とする。なお、年度末に提出される「研究成果についての報告書」に基づいて、研究成果を印刷し、各高等学校に配布する。

### (3) 研究学校、教科、科目数

10校、10教科、11科目

### (4) 研究主題

「各教科学習指導法の改善」

各学校、各教科（科目）に共通するものとして、上記の主題を設定するが、実際の研究にあたっては、指定の目標に沿い、各学校、各教科（科目）の実状に即し、具体的な小テーマを設けて研究する。

### (5) 各校の研究教科（科目）および研究テーマ

- ① 新地高等学校  
国語  
「現代国語における漢字読み書き指導について」
- ② 遠野高等学校  
社会  
「学習意欲をおこさせるための指導法の改善」
- ③ 小名浜高等学校  
数学  
「生徒の実態に即した指数関数・対数関数の指導はいかにあるべきか」
- ④ 保原高等学校  
理科  
「思考過程を重視した指導法の研究」
- ⑤ 石川高等学校  
芸術「音楽」  
「鍵盤楽器導入による授業の実際」
- ⑥ 白河女子高等学校  
芸術「美術」  
「発達段階にみられる絵画についての好みの実態」
- ⑦ 喜多方女子高等学校  
英語  
「学力不振者の指導について」
- ⑧ 小野高等学校  
農業  
「農業教科における学習指導法の改善」
- ⑨ 勿来工業高等学校  
工業  
「工業計測における学習指導法の改善」
- ⑩ 西会津高等学校  
商業  
「演習を主体とした「伝票会計」学習指導の実践的研究」
- ⑪ 会津農林高等学校  
家庭  
「技能の定着を高めるための指導法のくふう」

## 3. 進路指導研究学校

- ① 勿来高等学校  
「本校における進路相談はどうあるべきか」
- ② 東白川農商高等学校  
「農業科・商業科・家庭科における進路指導の現状と問題点」

## 4. 特殊教育教科指導

- ① 郡山盲学校  
国語  
「弱視児に対する文字指導」
- ② 平ろう学校  
国語  
「語い（動詞）指導法の改善について」
- ③ 郡山養護学校  
保健体育